

先進地（現地）調査報告書

令和 6 年 3 月 29 日

玉名市議会

議長 江田 計 司 様

氏 名 多 田 隼 啓 二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	北本将幸・吉田真樹子・瀬崎剛		
日 時	令和 6 年 2 月 14 日（水）～ 令和 6 年 2 月 15 日（木） 午前・午後 13 時 30 分 ～ 午前・午後 16 時 30 分		
調 査 先	鳥取県八頭町	自動車使用に係 る走行距離	km
調 査 事 項	廃校活用の経緯と現状		
調査先面会者	企画課 山田健吾 産業観光課 田淵将也 オオエバレーステイ支配人 大田直幸		
概要及び所見	八頭町の総合戦略での重要取組 サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーター創造地域の創設して ・学校の跡地など空き施設を活用し、企業等の本拠から離れた所に設置するオフィス（サテライトオフィス）の開設など情報関係企業等の誘致を行い、新たな雇用の場を創設し、革新的な起業家（イノベーター）が活躍・発信するまちを創設されていた。 ・このための拠点として、平成 29 年度以降、隼小学校跡地を活躍し、企業や起業家、地域住民が集う拠点を整備するとともに、同拠点を運営隼 Lab（株）が中心となり、参入企業等と連携しながら地域課題の解決につながる新たな取組を推進されていた。		

隼 Lab 運営状況は約 40 企業が入居されていて、シェアオフィス・ワーキングスペース・カフェショップ・地域の活動拠点訪問看護ステーションのコミュニティ複合施設を開設されていた。

玉名市としても、学校跡地の活用が必要であり、民間企業との連携により、地域課題の解決に向けた取組を創出・推進するプラットフォームの構築が必要と感じた。